



2020 年 10 月 26 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 6 戦、Audi R8 LMS が今シーズン初優勝

- #21 Audi Team Hitotsuyama、4 年ぶりの勝利。予選 6 位から逆転。
- #33 X Works は予選 27 位からスタートし、22 位でレースを完走

アウディ ジャパン株式会社 (本社:東京都品川区、代表取締役社長:フィリップ ノアック) は、Audi R8 LMS で 2020 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー (プライベート) チームをサポートしています。10 月 24 日 (土) ~25 日 (日)、鈴鹿サーキット (三重県 1 周 5,807m) で 2020 SUPER GT 第 6 戦となる「SUZUKA GT 300km RACE」が開催されました。

新型コロナウイルスの影響により、今シーズンは約 3 ヶ月遅れの開幕となり、開催するサーキットを、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎの 3 ヶ所に限定。4 戦目までは、感染拡大防止のための措置として無観客でレースが行われてきました。前回 5 戦目から制限付きながらも観客を迎えて開催しており、今回快晴の鈴鹿サーキットには予選と決勝の両日で約 3 万人の観客が訪れました。

アウディ ジャパンとパートナーシップ契約を締結している #21 Audi Team Hitotsuyama。今シーズンはドライバーラインアップ、そしてマシンのカラーリングも赤へと一新。ドライバーは Audi Sport ドライバーであるクリストファー ミース選手と川端 伸太朗選手がコンビを組む予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりミース選手の来日がかなわず、今回も近藤 翼選手にステアリングが託されました。

一方 #33 X Works は、昨年の SUPER GT GT300 クラスをはじめ、スーパー耐久にも参戦する香港国籍のレーシングチームです。人気アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」とのプロモーションタイアップにより、エヴァンゲリオン初号機をイメージしたカラーを採用。ドライバーは香港人コンビのショウン トン選手とアレックス アウ選手です。新型コロナウイルスの影響によりアレックス アウ選手が入国できず、代役として第 5 戦に続きベテランの佐々木 孝太選手がエントリーしました。

土曜日の予選は、好天に恵まれ気温 20℃、ドライコンディションでのタイムアタックとなりました。参加車両の多い GT300 クラスの予選は、A 組、B 組の 2 つに分かれて行われ、それぞれ Q1 での上位 8 台が Q2 へと進出するノックダウン方式となっています。今大会では、#21 Audi Team Hitotsuyama と #33 X Works の 2 台ともに A 組へと配分。Q1 はそれぞれ #21 近藤選手と、#33 ショウン トン選手が予選に挑みました。#21 近藤選手は、タイミングを見て 4 週目にアタックを行い 4 番手のタイムを記録。Q2 進出を果たしました。上位 16 台で争われる Q2 では、#21 川端選手が同じく 4 週目に好タイムをマークし、予選 6 位となり表彰台を狙える位置からのスタートとなりました。#33 ショウン トン選手は Q1 をクリアできず予選 27 位となりました。

日曜日午後 1 時、気温 22℃、2 日続きの快晴のもとドライコンディションで決勝レースがスタート。#21 Audi Team Hitotsuyama のスタートドライバーは近藤選手がつとめました。冷静にスタートを決め、6 位のポジションをキープ。4 週目に上位のマシンがトラブルでストップし 5 位へとポジションをアップします。10 週目の 1 コーナーで前をいく #96 号車をバスして 4 位へ。その後は 3 位を走る #11 号車とテールツーノーズのバトルが繰り広げられました。直線でのスピードに優る #11 号車に抑え込まれた展開となり、チームは予定より早めのピットインを選択。19 周を終えた段階で川端選手へとバトンタッチ。このピットインタイミングの判断が勝敗をわけることとなります。川端選手がコースへ復帰後 2 週目にコースアウトしたマシンのためセーフティカーが導入されました。ここで上位との差がぐっと縮まり、事実上の 2 位を走行していました。そして、セーフティカーがあけて 2 週目の 1 コーナ

一でアウトから#6号車をパス、トップへと浮上しました。川端選手はその後約20周、安定した走りで見事首位をキープし、そのままチェッカーフラッグを受けました。

川端選手、近藤選手、両名にとってSUPER GT初優勝であり、#21 Audi Team Hitotsuyamaにとっては、2016年のツインリンクもてぎ大会以来、4年ぶりの勝利となりました。これによりチームランキングは8位となり、残り2戦のレース展開次第では、さらに大きく順位をあげる可能性を残しています。

一方、#33 X Works はスタートドライバーを佐々木選手が、第2スティントをショウン トン選手が走行。着実に周回を重ね、22位でレースを終えています。

#21 Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「今シーズンも、レースのペースは悪くないのですが、予選で苦勞してなかなか上位を確保できないもどかしい展開が続いていました。今回は練習走行、予選とタイムが出せるようなクルマづくりを狙っていました。その結果、今年最上位グリッドを獲得できたのが勝因の1つだと思っています。決勝レースの作戦としては、近藤選手にもう少し長く走ってもらう予定でしたが、#11号車に抑えられたことで早めにピットに入れたところ、すぐにセーフティカーが入る展開になり、運にも恵まれました。今日はピット作業も完璧でしたし、ふたりのドライバーもミスなく素晴らしいレースができました。近年のGT300はクルマのセットアップ、チームともにレベルが高く、このような状況の中で優勝できたことをとても誇りに思います。前回のもてぎでの優勝以来、約4年ぶりに勝つことができました。ここまであきらめずやってきて本当に良かったと思っています。この流れで、次も表彰台を狙い、ポイントランキングをあげられるよう頑張ります」

#21 Audi Team Hitotsuyama 川端 伸太朗選手のコメント

「今回の予選はハードタイヤを選択したのですが、それにより6番手のタイムを出すことができました。Q2で選んだタイヤがスタートタイヤになるため、まずそれが大きな勝因でした。そしてチームのみならずのおかげで、前回の鈴鹿よりも劇的にマシンが良い仕上げとなっていて、乗っていて楽しかったです。近藤選手もいい走りをしてくれて、チームとしての戦略もうまくいきました。僕のスティントとしては、#6号車をオーバーテイクしてマージンを稼いだあとは、とにかくタイヤをいたわりながら、実は最後の10周くらいは燃料が足りなくて、ガス欠するんじゃないかとヒヤヒヤしていました。本当に勝てて良かったです。次のもてぎは相性がいいサーキットですし、今シーズン、まだチャンスはあると思います」

#21 Audi Team Hitotsuyama 近藤 翼選手のコメント

「まだ優勝の実感はないですね。今週はチームがいいクルマに仕上げられて、練習走行も調子がよくて、予選ではさらによく、やはりシングルの位置で決勝レースをスタートできるのはぜんぜん違うなと思います。#96号車をうまくパスして、さらに#11号車を追っている最中は徐々にタイヤも厳しくなってきたので、あまり無理をしないようにと考えていました。今シーズン6戦に参戦して、チーム、川端選手ともレース毎にいいコミュニケーションがとれるようになってきたところで、こうしてチャンスが巡ってくるんだなと実感しています。結果を出せたことはすごく嬉しいです。僕自身も気持ちよく走れましたし、良い週末でした。もてぎは前回のレースでも5位に入賞していますし、結果につながるように頑張ります」

アウディ ジャパンは2016年来、Audi Sport customer racing パーツトレーラーを全国のサーキットに配備してレースに参戦するカスタマーチームをサポートしています。今年も専用のトレーラーにボディ、トランスミッション、エンジン等、レース車検に適合した約2,700アイテム、約11,000点の部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるように体制を整えて、SUPER GT、スーパー耐久、およびTCR ジャパンに参戦するチームと共に国内外のサーキットを転戦しています。

次戦、SUPER GT 第7戦は、11月7日(土)～8日(日)、ツインリンクもてぎにて開催予定です。